



対日理解促進交流プログラム「カケハシ・プロジェクト（カナダ）」

標準日程案



日時		日程	シラバス	宿泊先
1		成田/羽田空港 集合 オリエンテーション、渡航説明・健康状態確認	事業主旨・目的等を理解し、プログラム参加者としての自覚を促し、意欲を高める。またカナダでの安全管理・健康管理について確認する。	ホテル泊
		成田/羽田空港 → カナダ着		
2	AM	【オリエンテーション】	事業目的、スケジュール詳細を確認する。	ホテル泊
	PM	【表敬訪問】	カナダの政治・経済・外交・歴史・文化等を知り、カナダ理解の一助とする。カナダにおける日本の位置づけや評価を把握し、「日本の強み・魅力」を発信する準備へとつなげる。	
3	AM	【学校交流】①	カナダの同世代の青少年に対し、日本の政治、経済、社会、文化、歴史、外交政策などについてプレゼンテーションを行い、現地の学生が日本の良さを知り、日本に関心を持つきっかけ作りを行う。また、カナダ学生からも同国の良さをプレゼンテーションしてもらい、両国の特色に関するディスカッションを行う。交流を通じ、日本とカナダの間の友情を育む。	ホテル泊
	PM	【視察】	カナダの代表的な歴史/文化施設訪問、あるいは日本とカナダとの歴史的な関係が分かる施設を訪問し、その土地と人々に対する理解を深め、今後の日本とカナダとの関係を考察する一助とする。	
4	AM	【学校交流】②	カナダの同世代の青少年に対し、日本の政治、経済、社会、文化、歴史、外交政策などについてプレゼンテーションを行い、現地の学生が日本の良さを知り、日本に関心を持つきっかけ作りを行う。また、カナダ学生からも同国の良さをプレゼンテーションしてもらい、両国の特色に関するディスカッションを行う。交流を通じ、日本とカナダの間の友情を育む。	ホテル泊
	PM	【企業視察】	企業訪問を通じ、民間レベルの経済関係を把握する。	
5	AM	【視察】	カナダの都市、郊外を見学し、カナダの社会や人々の様子を参加者自身の目で確かめる。	ホテル泊
	PM	【ワークショップ】	今回のプログラムから学んだことや帰国後活動案(学んだ事をどう活かすか、継続的な日本に関する情報の発信方法等)について、プログラム関係者に報告する内容をまとめる。	
6	AM	【視察】	カナダの代表的な歴史/文化施設訪問、あるいは日本とカナダとの歴史的な関係が分かる施設を訪問し、その土地と人々に対する理解を深め、今後の日本とカナダとの関係を考察する一助とする。	ホテル泊
	PM			
7	AM	帰国準備		機内泊
	PM	カナダ発 → 成田/羽田空港着（翌日到着）		
8	AM PM	帰国・解散		